デザインマンホールの視認率調査
第一回報告

－デザインマンホールの PR 効果研究－

（改訂版）

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科　佐藤研究室

報告書のご利用について

本報告書は、大学における学生教育を主たる目的に作成されたものです。そのためデータの信頼性をはじめ、実務上の要求に十分応えられる水準にあるとは限らないことをご理解ください。

また実施した調査をはじめ、本報告書の内容の多くは学生自身が試行錯誤した成果です。もちろん教員が学生を指導していますが、指導不足により何らかの誤りが存在する可能性があります。なおその点について学生に非は無く、その責は指導教員にあります。何卒ご寛恕いただければ幸いです。

本報告書はこのような性質のものですが、デザインマンホールの視認率に関し、管見の限り調査した事例は見当たりませんでした。そのため未熟なものながら、本報告書のアイデアやデータにも一定の意義があると考え、ご高覧に供するものです。

何卒上述の内容を良くご理解のうえ、本報告書をご利用くださいますようお願い申し上げます。

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科

講師　佐藤忠文

1. 調査概要

2. 方法

3. 結果

4. 調査班

5. 当日の様子

6. お問い合わせ先

１．　調査概要

(1) 趣旨

デザインマンホール（蓋）は、下水道事業の PR（広報活動）を主な目的に設置が進められてきました。近年、アニメのキャラクターを描いた蓋が登場するなど、観光や市街地の賑わいづくりといった地域振興に対する期待の高まりから、全国で設置が加速しています。

しかしこのようなブームと言える状況がある一方で、地域振興や下水道事業に対する PR 効果は、これまで十分には明らかにされてきませんでした。

社会課題である下水道インフラの維持には、老朽化するマンホール蓋の交換が必要です。災害対策のため高機能化も要請されていますが、必要な対応が進んでいるとは言い難い面があります。解決には、費用負担をはじめ、下水道事業に対する市民の理解が必要です。そのためデザインマンホールには、市民生活で意識され難い下水道の関心を高める効果が期待されてきました。

他方、デザインマンホールの登場は、路上観察などで生まれたマンホール蓋に対する文化的関心を拡げ、マンホーラーと呼ばれるファンとそのコミュニティを生み出すことに成功しました。そこでは実用性と異なる視点でマンホール蓋の価値を認め、時に老朽化した蓋の保護が求められる場合もあります。デザインマンホールへの期待は、彼らマンホーラーの存在に支えられてきた部分が大きいと言えますが、今や一部のファンのみを対象とするにとどまらない社会現象になりつつあります。

以上のように現在のマンホール蓋は、下水道の存在を示す「シンボル」から、人々の関心や興味を媒介する「メディア」に変化してきたと考えられます。

これは地域振興や下水道事業に対する PR 効果を考える際に、マンホール蓋に対するメディア的な理解が必要になったことを示しています。PR 効果を、取り組み事例の話題性といった視点から考えるばかりでなく、マンホール蓋のメディアとしての特徴を明らかにし、一般市民に対するより広範な影響を検討する段階にあると考えられます。

そのうえで我々は、マンホール蓋をメディアとして考える場合の基礎的なデータがないことに着目しました。そこで手始めに、デザインマンホールの視認率を中心とした調査を試みました。本調査は大学生による試行的なものですが、今後取り組みが広がり、より効果的な PR 活動に資することを願っています。

(2) 目的

デザインマンホールの PR 効果を明らかにするために、基礎的データの収集を目的としたデザインマンホールの視認率調査と、訪問動機や下水道事業への認知状況を理解するために街頭でのアンケート調査を実施した。

(3) 調査地点

調査対象とするデザインマンホールとして、ポケモン[1]の絵が描かれたマンホール蓋「ポケふた」のうち以下 2 か所に設置された蓋を選定した。

1 か所目　：　リバーウォーク北九州付近　1 枚
2 か所目　：　門司港付近　1 枚

なお北九州市では 2021 年 8 月に北部九州初となる「ポケふた」を設置した。選定にあたっては、調査者が所属する大学が福岡県にあり近いこと、設置から調査実施日まで 2 か月程度と、設置当初の注目が落ち着いた頃でありかつ日常化していないと予想され、今回の趣旨に照らして適切な調査対象であると判断した。

(4) 調査実施日

2021 年 10 月 31 日（日曜日）[2]

2.　方法

(1) 構成

二つの調査地点に対して、各調査員 2 名により以下に述べる視認率調査及びインタビュー調査を実施した。

調査は、調査実施日の表 1 の時間帯に実施した。なおアンケート調査は、デザインマンホールをカメラ（スマートフォン含む）で撮影する動作が確認された場合に、積極的にデザインマンホールを注目していると判断してアンケート調査を実施した。詳しくは後述する。

---

[1] ポケモンは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

[2] 当日は第 49 回衆議院議員総選挙の投票日であり、加えてリバーウォーク北九州付近では、ハロウィン関係のイベント準備が行われていた。また当日は新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等は解除されており、イベント開催に制限のない状況であった。

表１　調査時間帯

	リバーウォーク北九州付近		門司港付近	
	視認率	アンケート	視認率	アンケート
10:00～11:00	－	○	○	○
11:00～12:00	－	○	○	○
12:00～13:00	○	○	○	○
13:00～14:00	○	○	－	○
14:00～15:00	○	○	○	○
15:00～16:00	－	○	－	○
16:00～17;00	○	○	○	○

○：調査実施

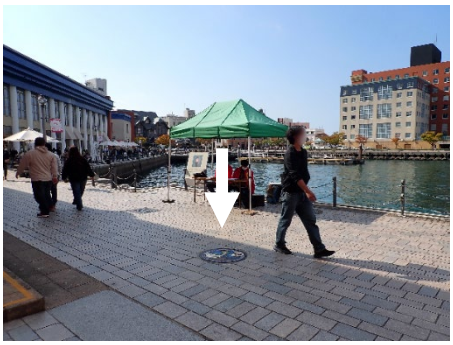
(2) 視認率調査

デザインマンホールを視認している人及び通行人の数を調査員が数取り機を用いて調査した。

①　カウント方法

デザインマンホールを囲むように一定の区画を設定し、区画内に入った人数をカウントした。ピンのある場所が対象となるマンホール蓋の位置である。（写真１及び２）

なお区画の範囲は、おおよそ縦１０m、横５mと設定した。調査員は、デザインマンホールが見える位置に椅子を設置し、調査を実施した。

リバーウォーク北九州付近	門司港付近
	
写真１	写真２

② カウント基準

路上を歩行中にデザインマンホールを視認したことを明確に確認できるとして，以下の基準に合致した場合にカウントした。

- 立ち止まって見る
- 振り返って見る
- 指さして見る
- その他（スマホを見ながらちらっと見たような場合など、見たか見ていないか微妙な判断は当日の調査者 2 名で話し合って決めた。）

(3) アンケート調査

デザインマンホールを視認した人のうち、積極的にマンホールに注目したと判断できる人を抽出して街頭でアンケート調査を実施した。

① 判断基準

カメラ（スマートフォン含む）で撮影する動作が確認された場合とした。

② 調査手順

1. １時間分の調査票の「担当、age、時帯、F/M」にマークしたのち、1 時間分をバインダーに挟んで、通し番号を 調査票の右上に大きく記入し、アンケートを開始する。
2. 「おはようございます」と元気な挨拶から始める。
3. 身分を名乗る。
4. ご協力依頼を行う。「使用するペンは、毎回消毒しております。」
5. 短時間で済むことを前もって言う。（3 分ほど）
6. 聞き易い声で、調査票を読み上げて答えてもらう。
7. 自分で書きたそうにしている人には、ペンを差し上げて書いてもらう。
8. 書いてもらう間は、ちょっと距離を置いて、終わったころに近づいて回収する。
9. 空白がある場合は、「こちらもご記入していただいてよろしいですか」と促す。最後の記述のところはできるだけ書いてもらう。

③ 設問内容

問１　「マンホール蓋の写真を撮られた理由を教えてください。」

問２　「本日はどこから来られましたか。」

問３　「ここにポケモンマンホール蓋があることを知っていましたか。」

問４　「「知っていた」と答えたあなたの最初に知ったきっかけを教えてください。」

問５　「本日の目的を教えてください」

問６　「「マンホール蓋の役割」についてあなたはどのような事をご存じですか。ご存じなことをすべて教えてください。また知らなかった役割があれば教えてください。」

問７　「続けて「下水道の役割」について、あなたはどのような事をご存じですか。ご存じなことをすべて教えてください。また、知らなかった役割があればお知らせください。」

問８　「ポケモン蓋のようなデザインマンホール蓋が現在普及していますが、観光に対して良い影響をあえているかどうか意見をお聞かせください。」

問９　「最後にあなたのことをお知らせください。」

３．　結果

(1) 視認率調査

表２　視認率（リバーウォーク北九州）

リバーウォーク北九州			
	区画を通行した人 ①	マンホール蓋を見た人 ②	②／①　(%)
１２：００～ １３：００	409	35	8.6
１３：００～ １４：００	305	69	22.6
１４：００～ １５：００	489	34	7.0
１６：００～ １７：００	883	35	4.0
合計	2,086	173	8.3

表３　視認率（門司港）

門司港			
	区画を通行した人 ①	マンホール蓋を見た人 ②	②／①　(%)
１０：００～ １１：００	508	45	8.9
１１：００～ １２：００	949	98	10.3
１２：００～ １３：００	1,444	168	11.6
１４：００～ １５：００	1,657	99	6.0
１６：００～ １７：００	948	94	9.9
合計	5,506	504	9.2

※カメラで撮影をした場合を注目率として集計した。

表４　注目率（リバーウォーク北九州）

リバーウォーク北九州			
	マンホール蓋を見た人 ①	写真を撮った人 ②	②／①　(%)
１２：００～ １３：００	35	10	28.6
１３：００～ １４：００	69	1	1.4
１４：００～ １５：００	34	15	44.1
１６：００～ １７：００	35	13	37.1
合計	173	39	22.5

表５　注目率（門司港）

門司港			
	マンホール蓋を見た人 ①	写真を撮った人 ②	②／①　(%)
１０：００～ １１：００	45	2	4.4
１１：００～ １２：００	98	7	7.1
１２：００～ １３：００	168	12	7.1
１４：００～ １５：００	99	10	10.1
１６：００～ １７：００	94	17	18.1
合計	504	48	9.5

(2) アンケート調査

表 6　性別

No.	カテゴリー	実数	%
1	男性	12	27.9
2	女性	31	72.1
	合計	43	100

表 7　時間帯

No.	カテゴリー	実数	%
1	１０代前半	2	4.7
2	１０代後半	1	2.3
3	２０代前半	2	4.7
4	２０代後半	4	9.3
5	３０代前半	11	25.6
6	３０代後半	3	7.0
7	４０代前半	10	23.3
8	４０代後半	0	0
9	５０代前半	4	9.3
10	５０代後半	0	0
11	６０代前半	5	11.6
12	６０代後半	1	2.3
13	７０代前半	0	0
14	７０代後半	0	0
	合計	43	100

問１　マンホール蓋の写真を撮られた理由を教えてください。（複数回答）

表８　問１

No.	カテゴリー	実数	%
1	コレクション	6	14.0
2	SNSへの投稿	1	2.3
3	珍しい・面白いと思ったから	15	34.9
4	ポケモンが好きだから	30	69.8
5	友人・家族・知人に見せるため	6	14.0
6	特にない	1	2.3
7	その他	2	4.7
	合計	61	
	回答者数	43	

問２　本日はどこから来られましたか。（単数回答）

表９　問２

No.	カテゴリー	実数	%
1	北九州市内	23	53.5
2	福岡県	5	11.6
3	山口県	4	9.3
4	九州（福岡県除く）	1	2.3
5	その他	10	23.3
	合計	43	100

問３　ここにポケモンマンホール蓋があることを知っていましたか。（単数回答）

表 10　問 3

No.		実数	%
1	知っていた	27	62.8
2	知らなかった	16	37.2
	合計	43	100

問４　「知っていた」と答えたあなたの最初に知ったきっかけを教えてください。（複数回答）

表 11　問 4

No.	カテゴリー	実数	%
1	テレビ	5	18.5
2	雑誌	0	0
3	新聞	0	0
4	ラジオ	0	0
5	SNS	6	22.2
6	観光案内サイト	3	11.1
7	ポケモンのホームページ	6	22.2
8	インターネット広告	0	0
9	ニュースアプリ	0	0
10	家族・友人・知人	10	37.0
11	市役所ホームページ	1	3.7
12	その他	3	11.1
	合計	34	
	回答者数	27	

問 5 本日の目的を教えてください（複数回答）

表 12　問 5

No.	カテゴリー	実数	%
1	観光	18	41.9
2	買い物	8	18.6
3	飲食（店内イートイン）	8	18.6
4	仕事	0	0
5	イベント	5	11.6
6	散歩・休憩	8	18.6
7	マンホール蓋	14	32.6
8	その他	4	9.3
	合計	65	
	回答者数	43	

本日の目的を教えてください（第一の目的）（単数回答）

表 13　問 5（第一の目的）

No.	カテゴリー	実数	%
1	観光	16	37.2
2	買い物	6	14.0
3	飲食（店内イートイン）	0	0.0
4	仕事	0	0.0
5	イベント	4	9.3
6	散歩・休憩	3	7.0
7	マンホール蓋	10	23.3
8	その他	4	9.3
	合計	43	
	回答者数	43	

本日の目的を教えてください（第二の目的）（単数回答）

表 14　問 5（第二の目的）

No.	カテゴリー	実数	%
1	観光	2	4.7
2	買い物	2	4.7
3	飲食（店内イートイン）	8	18.6
4	仕事	0	0
5	イベント	0	0
6	散歩・休憩	7	16.3
7	マンホール蓋	4	9.3
8	その他	0	0
	合計	23	53.5
	回答者数	43	

問６　「マンホール蓋の役割」についてあなたはどのような事をご存じですか。ご存じのことをすべて教えてください。また知らなかった役割があれば教えてください。
（複数回答）

表 15　問 6（知っていた役割）

No.	カテゴリー	実数	%
1	ライフラインを維持管理するための点検孔になる	25	58.1
2	大雨の際の水があふれるのを防ぐ	24	55.8
3	災害時の非常トイレになる	5	11.6
4	避難誘導表示としての活用	4	9.3
5	観光地やスポーツイベント会場への案内表示	14	32.6
6	広告媒体	9	20.9
7	その他	0	0
	合計	81	
	回答者数	43	

表 16　問 6（知らなかった役割）

No.	カテゴリー	実数	%
1	ライフラインを維持管理するための点検孔になる	4	9.3
2	大雨の際の水があふれるのを防ぐ	4	9.3
3	災害時の非常トイレになる	16	37.2
4	避難誘導表示としての活用	16	37.2
5	観光地やスポーツイベント会場への案内表示	6	14.0
6	広告媒体	10	23.3
7	その他	0	0
	不明	18	41.9
	合計	74	
	回答者数	43	

問７　続けて「下水道の役割」について、あなたはどのような事をご存じですか。ご存じのことをすべて教えてください。また、知らなかった役割があればお知らせください。（複数回答）

表 17　問 7（知っていた役割）

No.	カテゴリー	実数	%
1	街を清潔にする	29	67.4
2	街から雨水を排除する	27	62.8
3	公衆衛生の向上	26	60.5
4	河川、海等の水質保全	16	37.2
5	エネルギー・資源を作る	3	7.0
6	その他	0	0
	合計	101	
	回答者数	43	

続けて「下水道の役割」知らなかった役割があればお知らせください。（複数回答）

表 18　問 7（知らなかった役割）

No.	カテゴリー	実数	%
1	街を清潔にする	1	2.3
2	街から雨水を排除する	1	2.3
3	公衆衛生の向上	1	2.3
4	河川、海等の水質保全	1	2.3
5	エネルギー・資源を作る	17	39.5
6	その他	0	0
	不明	26	60.5
	合計	47	
	回答者数	43	

問８　ポケ蓋のようなデザインマンホール蓋が現在普及していますが、観光に対して良い影響を与えているかどうか意見をお聞かせください。（自由回答）

表 19　問 8

子供の興味を引くので、観光地の活性化に良い影響を与えていると思う
ポケモンが好きで始めてみて嬉しかった
人が増える
観光地になるのでいいと思います
良いと思う
他県にもあると聞き、観光に出かけたときにぜひ見に行きたいと感じます。 良い影響を与えていると思います。
分からないが少なからず、見に来る人はいる。
出かけるきっかけになるのでいいと思う。もっといろんな場所に増えてほしいです。
与えている。
（ポケふた目的で来た）
（ポケふた目的で来た）
ポケモン好きな人などに与えていると思う。
可愛いのと子供たちは見たがって喜んでいます。 家族で外出するきっかけにもなったためよかったです。
もっと北九州にマンホールを増やしてほしい。 マンホール回るのが楽しい。
たのしい。
良いと思う。
話題になっていいと思います。
良いと思うが、場所が分かりにくいし離れている。 門司とか、もっとポケふたを九州に増やしてほしい。
マンホールを意識してみるようになるので、とても楽しめると思いました。
観光地などで思いがけず変わったマンホールを見つけると楽しい。 ポケふたは、子供の興味を促すこともできるのでいいと思います。
与えている。
もう少し増えれば影響があると思う。
良いと思う。
分からん。
ポケモンは海外での認知もあり、インバウンドにも良い影響がありそう。

マンホール目的に人が集まればそれが観光にも繋がると思う。
色彩もデザインもきれいで素敵だと思います。 もっと増えると、見つける楽しみがあって良いと思います。
良いと思う。
分からない。
親しみやすいデザインだったら、意識してみるし興味を持つと思う。 知らなかったが、可愛かったから撮った。
城みたいにスタンプみたいで楽しい。珍しいから撮ってしまう。
たくさん増えるといいと思います。
たくさんあったら楽しい！
良いと思う。
マニアには楽しい。
ポケモン好きの子供に見せる。 各地のマンホールを写真に撮るとどこに行ったか思い出せる。
興味を持っている人もいると思うので、何もないよりは デザインのある方がよいと思います。
良い影響を与えている。楽しい。

問９　最後にあなたのことをお知らせください。

表 20　問 9（年代）

No.	カテゴリー	実数	%
1	１０代	3	7.0
2	２０代	4	9.3
3	３０代	16	37.2
4	４０代	10	23.3
5	５０代	4	9.3
6	６０代	5	11.6
7	７０代	1	2.3
	合計	43	100

表 21　問 9（職業）

No.	カテゴリー	実数	%
1	フルタイム	31	72.1
2	パートタイム	3	7.0
3	フリーランス	0	0
4	主婦・主夫	2	4.7
5	リタイア・自由業	1	2.3
6	学生	4	9.3
7	その他	2	4.7
	合計	43	100

４．　調査班

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科３年生
ゼミナールⅡ（佐藤研究室）

森　卓命
山下　雅信
宮崎　滉大
山野　航汰
三浦　遥

（マンホール調査を始めたきっかけ）

私たちは日々生活している中で気にしているようで気にしていないマンホールを取り上げ、メディアとの関連を考えながら研究を始めました。現在マンホールはデザインマンホールの普及などにより全国各地でブームが起きています。しかし私たちはブーム以前にマンホールの役割である下水道を守ることは周知されているのかが気になりました。そこでマンホールが観光業に寄与しているかはもちろんのこと、本来の下水道事業ＰＲにどこまで効果があるかを調査することにしました。

５．　当日の様子

（門司港）

（リバーウォーク北九州）

６．　お問い合わせ先

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科
講師　佐藤　忠文

〒813-8503　福岡市東区松香台２丁目３番１号
TEL　092-673-5276（研究室直通）
FAX　092-673-5276
E-Mail　t.sato@ip.kyusan-u.ac.jp